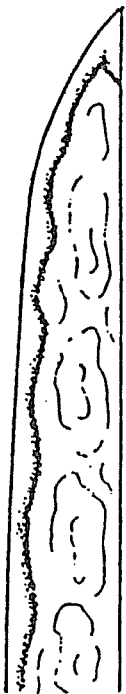


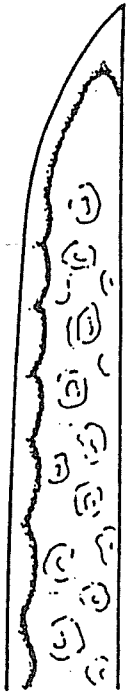
◆地鉄（Ⅱ地肌・鍛え肌）の種類

一見一様に見える刀の地鉄も、よくみるとそれぞれ鍛え方によるさまざまな肌目が現れ  
ており、刃文の美しさより地鉄の美しさを称賛する人さえおられます。時代・各流派によっ  
てこれも色々違いがありますが、次のが代表的なものです。

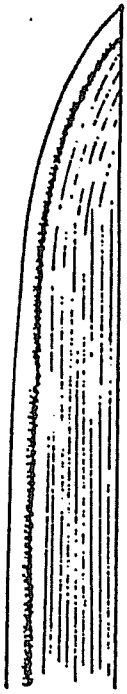
●板目肌 もっとも一般的。各時代、各流派にあり。



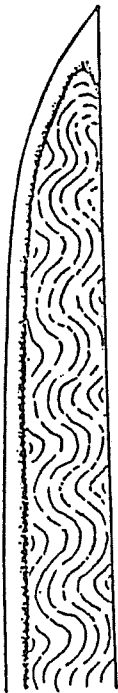
●杢目肌 板目肌の一種だが、丸い杢目が顕著。備前の肌が多い。



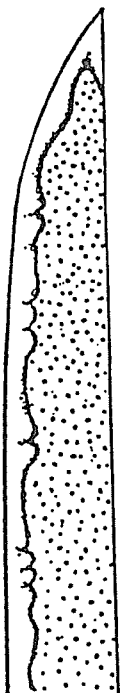
●柾目肌 代表的な大和伝の肌。堅牢であるとされ、幕末の水戸の志士たちに好まれた。



●綾杉肌 月山肌ともいい、奥州月山一派に多く見られる。



●梨子地肌 板目の細かい小板目がさらに詰まり、肌目が見えず、あたかも金蒔絵の梨子  
地のようなもの。古刀山城物、新刀大坂物に見る。



◆鑑賞上の特殊用語

足・葉 焼刀の中に見る働きの一種で、刃縁から刃先の方向に入る線状のもの。小さいも  
のを小足、逆がるものは逆足という。葉は足と似ているが、刃縁から続かず離  
れて刃中に点々と入るもの。

沸 最も硬い鋼の組織で、微粒子が肉眼で見えるもの。刃縁に最もよくつく。  
沸と同じ組織であるが、粒子が細かく肉眼では一粒一粒は見えず、一体に白く霞の  
ようにみえるもの。多くは沸を匂がつつんでいる。